

★えほん★

「いろいろはっぱ」

小寺卓矢／写真・文 アリス館 E2イロ

いろんなはっぱ、せいぞろい！大きい、小さい、長い、短い…。よくみると、いろんな形しているね。中には体そうしているはっぱも。それぞれのはっぱの名前も紹介。はっぱの世界をのぞいてみよう。



★よみもの★

「サラとピンキー パリへ行く」

富安陽子／作・絵 講談社 931トミ

サラちゃんのへやにある、だんボールでできたおもちゃのおうちに、ピンキー・ブルマというブタのぬいぐるみがすんでいる。



いつもいっしょにいろんなところでかけるのだ。ある日おしゃべりしたサラちゃんとピンキーは赤い車にのってパリまででかけることにした。

★しらべもののほん★

「さかなのたまご いきのこいをかけたさいくせん」

内山りゅう／写真・文 ポプラ社 487

川の中は、魚のたまごたちにとってきけんがいっぱい。だから、おやたちは、あの手この手でたまごをまもろうとする。そばで見えるもの、貝の中に生むもの、数万ものたまごを生むもの、ほかの魚のたまごとすりかえるもの…。みんなびっくりだ。



あたらしい本のコーナー

「ふしぎな銀の木 スリランカの昔話」

シビル・ウエッタシンハ／再話・絵 松岡享子・市川雅子／訳 福音館書店 E1フシ

ある日、王さまはふしぎな夢をみる。地面がわれて世にも美しい銀の木がはえ、花や実がなり、オンドリが高らかに時をつげるすばらしい夢。王さまは3人の王子たちに銀の木を見つけてくるようにいう。3人はいっしょに旅立つが、わかれ道にやってきて…。



「ゆめみるじかんよこどもたち」

ティモシー・ナップマン／文 ヘレン・オクセンバリー／絵 石井睦美／訳 BL出版 E4オク

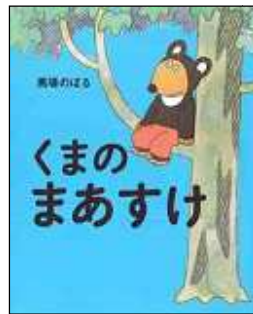
アリスとジャックが庭でボールあそびをしていると、森からふしぎな声がきこえてくる。ふたりはその声をたしかめるため、森のなかにはいって行くことに。さてそれは…。



「くまのまあすけ」

馬場のぼる／作・絵 ポプラ社 E3ハハ

まあすけは、ぶたのおじさんにだいこんのみはりをたのまれた。ふうせんをもったためきとうさぎのこから、もうひとつ向こうにひっかかっているときき、ふうせんがほしいまあすけは、かんがえた。「そうだ、だいこんもつれていこう。」



「奮闘するたすく」

まはら三桃／著 講談社 931マハ



野沢 佑は担任の早田先生にレポートを書いてほしいと頼まれた。この間の日記に書いた、祖父のデイサービス見学についていったことだ。祖父は、このごろ少し変なのだ。母は認知症を心配しているが、佑は「まさか、あの祖父が」と思っている。

「マウスさん一家とライオン」

ジェームズ・ドーハティ／作 安藤紀子／訳 ロクリン社 932トオ

ネズミのマウスさん一家はピクニックにやってきました。そこにはなんと寝ているライオンが！けれども末っ子の息子がいたずらをしてライオンをおこしてしまいました。怒って末っ子をつかまえたライオン。さあ、ネズミの一家はどうする？



「いいちゃんのふしぎな虫めがね」

最上一平／作 青山友美／絵 新日本出版社 931モカ

「知っている人に、あいませんように」知っている人とあうのが苦手なり。ほんとうは学校になんかいきたくないけど、しかたないから、ないしょの友だち・虫めがねをにぎりしめて学校に行く。虫めがねで校門の中をみでみると、そこは…海！



「知ってハナダカ！文房具のひみつ箱」

スタジオ248／編 六耀社 58

勉強するときに使っている「鉛筆」や「消しゴム」などの文房具は、なくてはならない道具だね。でもあるのが当たり前。前だと使っている文房具に、ふしぎな力があること気がついていない？文房具の知らなかった世界をのぞいてみよう。



「世界でさいしょのプログラマー」

フィオナ・ロビンソン／さく せなあいこ／やく 評論社 54

エイダは、じょうきで動く空飛ぶ馬をつくるのがゆめの女の子。数学の知識と想像する力を持ち、だれも思いつかない未来をえがいた。まだコンピュータが発明されてない時代にエイダが考えた計算方法は100年後に人々をおどろかせた。



「野菜と栄養素キャラクター図鑑」

田中明・蒲池桂子／監修 いうみつる／イラスト 日本図書センター 49

野菜にはいろいろな栄養素があるって知ってる？この本では、身近な野菜とその栄養素をかわいいキャラクターにして紹介するよ。野菜の栄養について楽しく学ぼう。

